

広報あいら

第227号

町の人口動態 (前年同月との比較)

昭和61.8.31現在	昭和60.8.31現在
36,087人……人口	35,602人
17,012人……男性	16,757人
19,075人……女性	18,845人
12,419戸……世帯数	12,207戸



アメリカ・タウン

私たちの姶良町

アメリカといふ言葉を存じですか。アメリカとは「快適環境」のこと。

つまり、私たちの生活環境を構成する自然や施設、歴史的・文化的

伝統などが、互いにバランスがとれ、その中で生活する私たちとの間に、調和が保たれている環境のことです。

本町も、働く婦人の家の建設や、歴史民俗資料館、総合運動公園の着工など、「快適環境」の町づくりが進んでいます。



白浜上空からの始良総合運動公園建設地

土地利用計画			
施設名	面積(ha)	施設名	面積(ha)
陸上競技場	2.5	メイン広場	0.7
野球場	1.8	自然植栽	8.3
体育館	0.7	木花園	1.3
テニスコート	0.5	駐車場	1.1
多目的広場	1.3	道路その他	4.0
		合計	22.2

単にスポーツ活動のみに供するものでなく、文化的な施設も取り入れ、利用層の拡大を図り、より総合的なコミュニティ形成の場とするなど新しい時代にふさわしい公園をめざしています。

土地利用については、現在の山林の自然形態はできるだけ残し、樹木の機能を生かし美しい景観を保つようにしています。そのため陸上競技場、野球場、体育館などの施設を取り囲むように花木園、芝生広場、展望台などの憩の場が配置され、その間を遊歩道でつなぐようになっています。



町内外に誇れる施設を

婦人バレーに夢中になつて
いるハツルママです。

私たち、昼間に練習して
いますが、会場は勤労者体育
センターカーありません。ほ
かのクラブチームも多いので

人間形成の場に

大型グラウンドが計画されて
いて大いに満足。

余暇を見て路上をひとりで
もくもくとジョギングしてい
ます。路上での練習は、交通
事故など危険を伴いますし、

スポーツ&
コミュニケーションの場に

精神的にも肉体的にも疲れ
ます。頼むば、一つの施設でも
いいから早く完成して欲しい
ですね。

グラウンドが完成すれば、多
くの走り仲間と一緒に集い、
汗を流し、励まし、ふれあ
い人間形成の場ができると思
います。

さらに、全部の施設ができ
たら、体育行事なども多くも
うな魅力ある施設であつて欲
しいですね。

緑豊かないきがいのある郷土

動きはじめた始良総合運動公園

町では、昭和五十九年度から総事業費約四十億円、全体の公園面積二十二ヘクタールという大規模運動公園づくりに着手しています。取付道路を除いて用地買収も終わり、すでに防災工事に入りました。

この公園は、町のアメニティの充実と活性化の目玉として、長期計画によつて、建設に取り組んでいますが、今後は、早期の完成をめざして、一年でも早く利用できるように努めてまいります。

公園面積二十二・二 ヘクタール

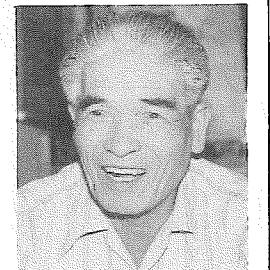
近年、人々の余暇の過ごし方には変化が現われ、これまでのような休養・休息という静的なものから動的なスポーツ活動へ移行しているようです。

山林一帯に建設し、面積は二十二・二ヘクタール。

これは、県立吉野公園（約三十一ヘクタール）よりは小規模ですが、総合運動公園としては県内でも有数の規模となります。

時代にマッチした公園

計画にあたつては、本町の持つ風土、文化などを念頭に、始良郡内におけるスポーツネットワークの主要施設として広く参加を求め、スポーツを通じたコミュニティ社会の形成、地域スポーツの振興などを図ろうとしています。また



よかー公園ができますな

みんなで、集まつて、和をつくり、運動をしたり、話し合をしたりすることは、必要なことです。だから、町民が、わざわざ町外に出ていかんでも、町内に気軽に行けることですね。

そのため、一日も早く公園が完成すること、そのたまりました。

施設ができるのは、たいへんよかことだと思います。

よかー公園ができますな

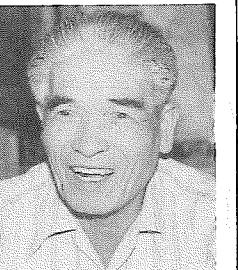
みんなで、集まつて、和をつくり、運動をしたり、話し合をしたりすることは、必要なことです。だから、町民が、わざわざ町外に出ていかんでも、町内に気軽に行けることですね。

そのため、一日も早く公園が完成すること、そのたまりました。

施設ができるのは、たいへんよかことだと思います。

施設ができるのは、たいへんよかことだと思います。

そして、昔、行われていた市民体育大会などが、新しくできる総合運動公園で行われるようになると、うれしいですね。



黒木 清三さん 73歳(新町)

施設ができるのは、たいへんよかことだと思います。

そして、昔、行われていた市民体育大会などが、新しくできる総合運動公園で行われるようになると、うれしいですね。

施設ができるのは、たいへんよかことだと思います。

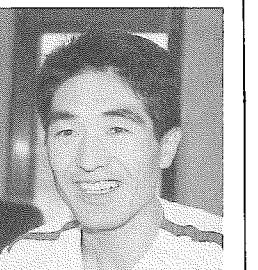
そのため、一日も早く公園が完成すること、そのたまりました。

施設ができるのは、たいへんよかことだと思います。

施設ができるのは、たいへんよかことだと思います。

そのため、一日も早く公園が完成すること、そのたまりました。

施設ができるのは、たいへんよかことだと思います。



人間形成の場に

大型グラウンドが計画されていて大いに満足。

余暇を見て路上をひとりでもくもくとジョギングしています。路上での練習は、交通事故など危険を伴いますし、

人間形成の場に

精神的にも肉体的にも疲れます。頼むば、一つの施設でもいいから早く完成して欲しいですね。

グラウンドが完成すれば、多くの走り仲間と一緒に集い、汗を流し、励まし、ふれあい人間形成の場ができると思います。

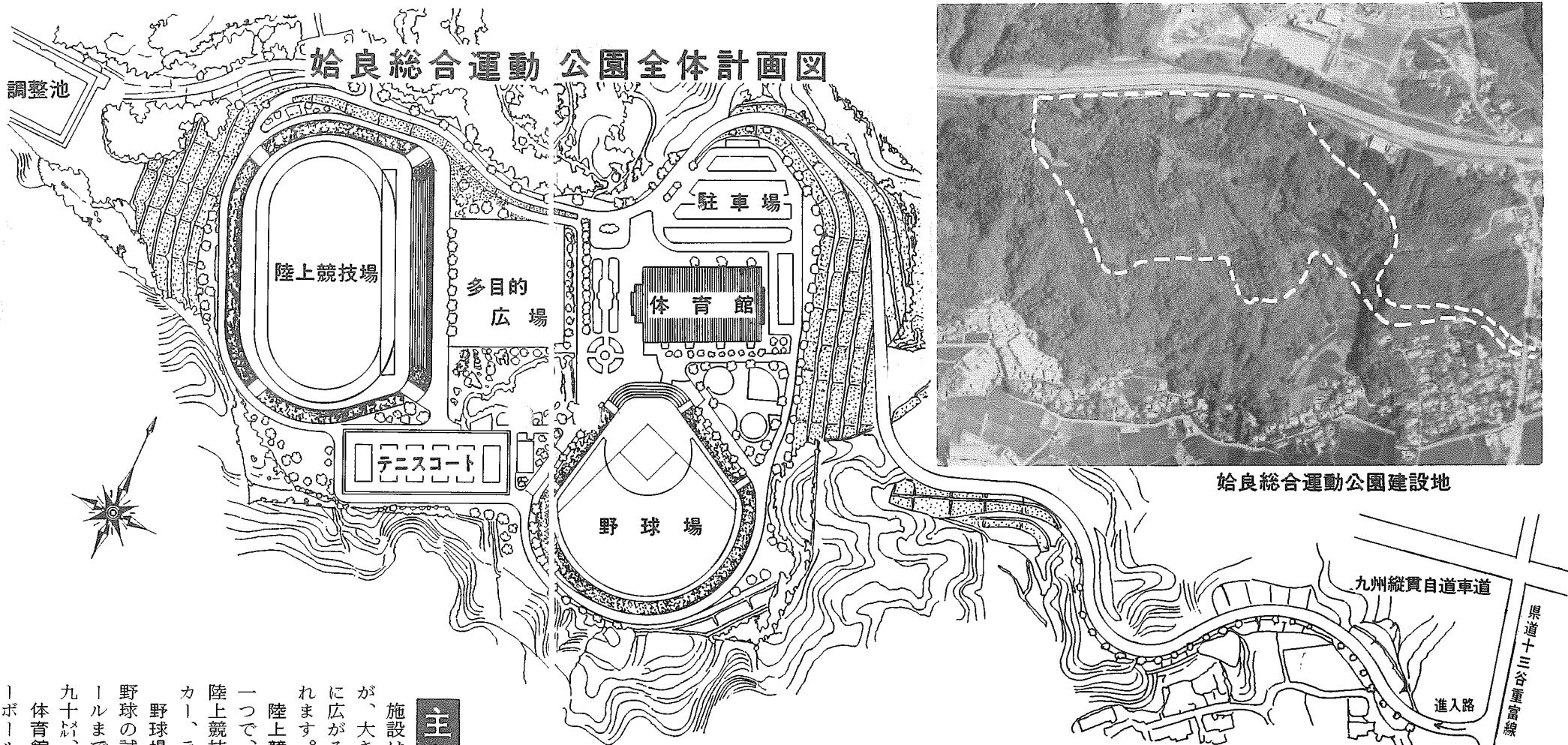
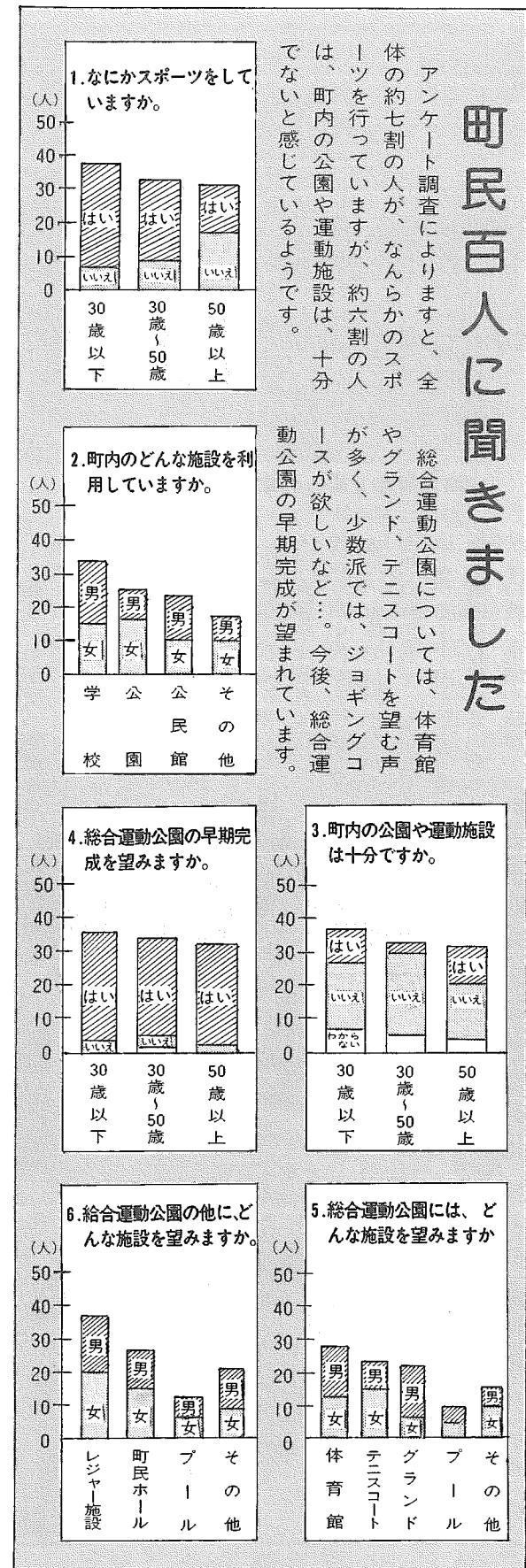
さらに、全部の施設ができるようになります。

人間形成の場に

精神的にも肉体的にも疲れます。頼むば、一つの施設でもいいから早く完成して欲しいですね。

グラウンドが完成すれば、多くの走り仲間と一緒に集い、汗を流し、励まし、ふれあい人間形成の場ができると思います。

さらに、全部の施設ができるようになります。



主な施設の概要

総合運動公園については、体育馆やグランド、テニスコートを望む声が多く、少数派では、ジョギングコースが欲しいなど。今後、総合運動公園の早期完成が望まれています。

施設は六つのゾーンに分かれます。大きくは運動施設ゾーンと周辺に広がる自然林の探索ゾーンに分かれます。

陸上競技場：本公園の主要施設の一つで、四百㍍のトラックを備え、陸上競技のほかソフトボール、サッカー、ラグビーなどの利用が可能。

野球場：アマチュアを対象とした野球の試合から家族単位のソフトボールまでの利用者を対象とし、両翼九十㍍、センター一百二十㍍。

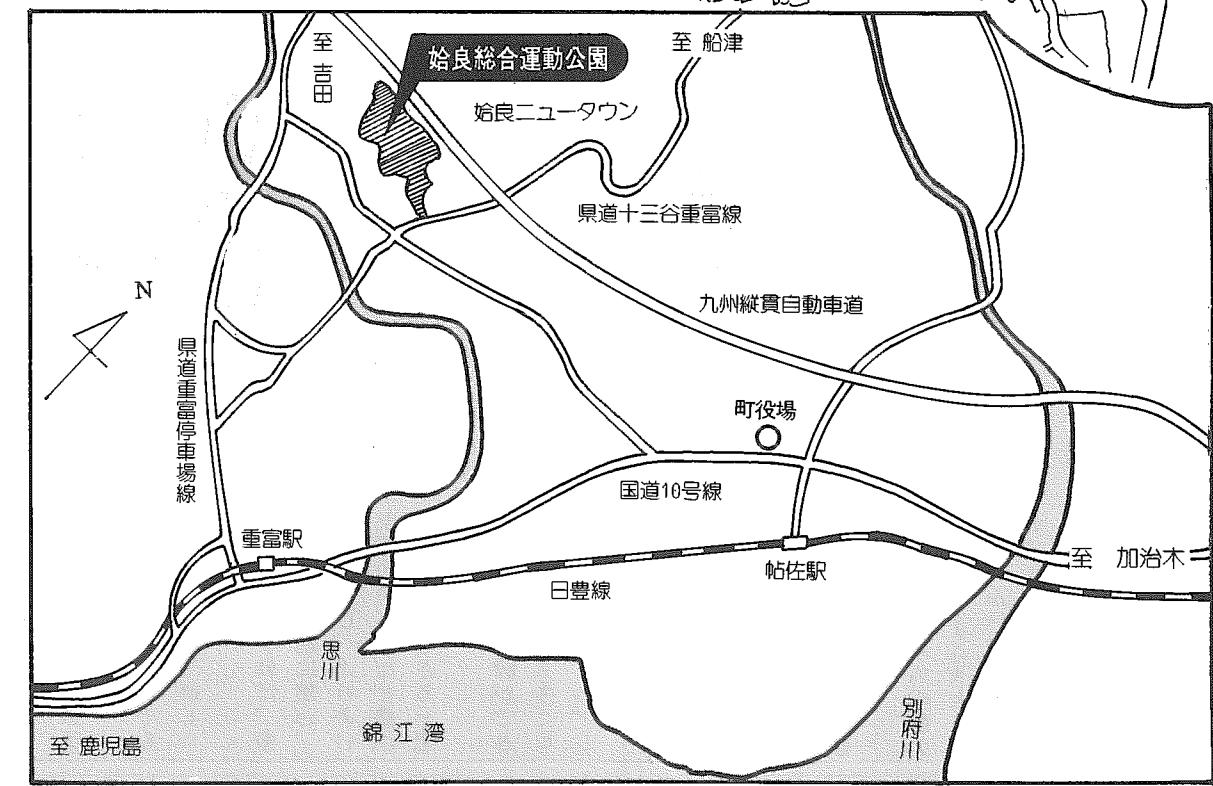
体育馆：本公園の中枢部で、バーチャル四面、卓球、バスケットボールなど。

テニスコート：クレーコート六面。

多目的広場：各種競技のウォーミングアップの場として、あるいは家族単位のレクリエーションの場として利用する。

花木園：修景、保養施設として利用する。

このほか、園内には小規模の休憩所として東屋を点在させ、展望台、アスレチック広場などを遊歩道でつなぐようになっています。



ひとくち・インタビュー



京田 珠子さん
(60歳) 倍原団地東



野元 和政さん
(59歳) 山野



岡崎 祐子さん
(29歳) 十日町



青木 敏子さん
(35歳) 始良ニュータウン

ふれあいの場です

婦人の家ができるからには、近所の皆さんと、好きな民踊のけいこをしたり、卓球をしに来ています。場所的にも、ここは、家の近くなので、気軽にこれていよいよ。また、たまにはみんなで、お菓子を持ち寄ったりしてお茶を飲みながらおしゃべりしたり……。私にとって、ここは、ふれあいの場ですね。

男性も利用したいね

先日行われた男性料理教室に参加しました。なかなか、勉強になりましたよ。それに、少しは、奥さんたちの苦労もわかつたような気がしますね。せっかくのすばらしい施設ですから、また男性も利用できるような機会が、欲しいと思います。それでも、料理って、たしかなんですね……。

すてきな施設ですね

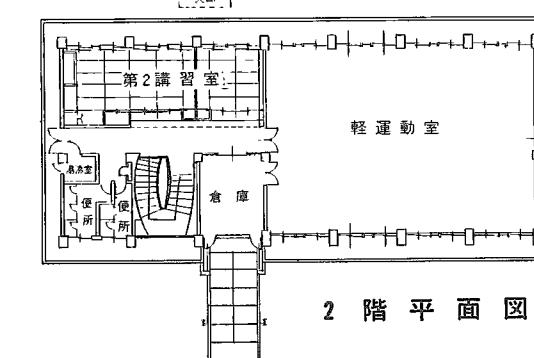
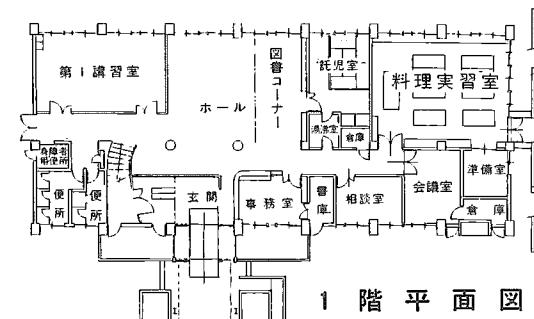
とっても、きれいな建物ですね。いつもは、育児に追われがちですが、こなら、託児室もあるということなので、安心して利用できると思います。友だちを誘つて、軽運動室で、卓球やバドミントンなどのスポーツをしたり、またお料理や手芸などの「婦人の家講座」も、受講してみたいですね。

コミュニティが広がります

町内のあちこちから奥様がたが、いらっしゃるので、ここに来ると、そういうたがたとのコミュニケーションや交流が樂しみですね。また、「ご年配のかたからいろいろと生活や料理のアドバイスをうかがつたりして、たいへんになりますよ。最近では、ミニバレーなどの軽スポーツもみんなで楽しくやっています。

ふれあい・語らい・学ぶ・いこいの施設

コミュニティの広場 始良町働く婦人の家



働く婦人や家庭婦人の福祉の増進と、地位の向上を図り、また、婦人の心のよりどころとして、気楽にくつろぎ語り合える、いこいと教養の場となることを目的にした、始良町働く婦人の家が、五月一日にオープンしました。

六月からは、婦人の家講座（昼間五講座・夜間三講座）も始まり、料理や、手芸、着物着付けや、エアロビクス：

教室も行われ、約五十人の参加がありました。今後は、職業生活と家庭生活の調和について考える「生活講座」も開催の予定です。

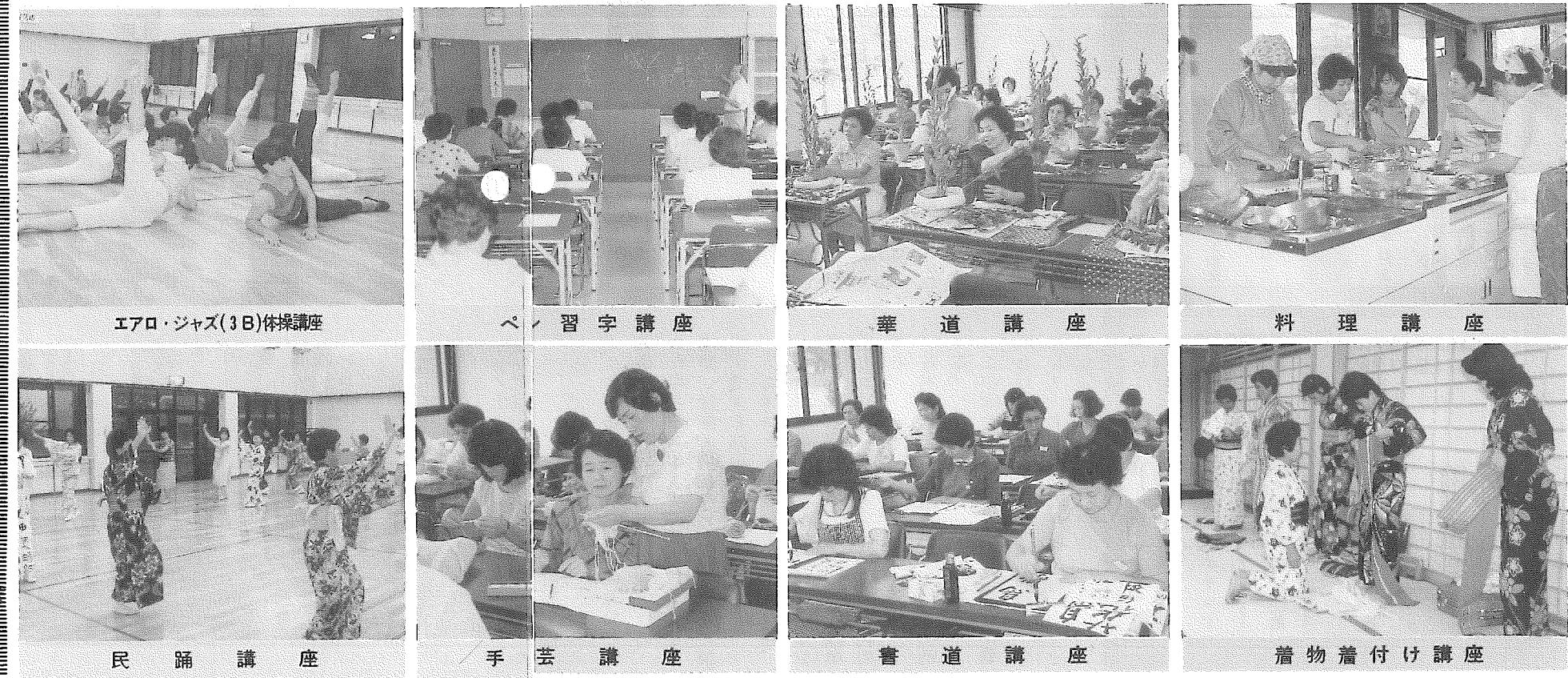


と、幅広い分野で、趣味と教養の場として、役立っています。

約五ヵ月がすぎ、今までに四千人以上の利用者が訪れ、現在も、たくさんのかたがたが、利用しています。

年代別にみてみると、婦人の家講座受講者は、三十代から四十代がもっとも多く、全体では四十代から五十代の利用者が、もっとも多いようです。中には七十歳以上のお利用者も訪れてています。

その他、地域や職場、仲間といつしょに、軽運動室で、ミニバレーや卓球を行つて汗を流したり、婦人の家での交流をとおしてできた友だち同志で、夏まつりの踊り連に参加したり、知覧町方面への史跡めぐりに行つたりして、婦人の皆さんのコミュニティの和づくりにもなつているようです。





▲まつりの花“ミスあいら”



▲会場いっぱいの人・人・人…



▼夜店もまつりの楽しみ



▼♪アーラ♪よかとこ夢のまち～♪

今年で十四回目を迎えた夏まつりが七月二十六日開催され、町内外から約四万五千人が訪れました。

昼の部は、老人招待歌謡ショーやマーチングパレード、総おどり

などに参加しようとチビッ子から大人までおおぜいの人々が路

上せましと大集合。いよいよまつりは本番をむかえました。

夜の部は、会場を中央公民館

グランドに移して、各流派舞踊

を始め、いろいろなイベントが

行われ、人々は、歌手のにしき

かえました。

のあきらさんや五月みどりさんの歌声に酔いしれていました。

そして、夏の夜空を彩る大き

く咲いた色とりどりの花火が打

ち上げられると、歓声と拍手、

どよめきが沸き起こり、樂しか

った夏まつりもフィナーレをむ

かえました。

第14回 夏まつり



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



▲あいさつする西野町長



▲人気を呼んだ五月みどりさん



▲流し目もクール、にしきのあきらさん



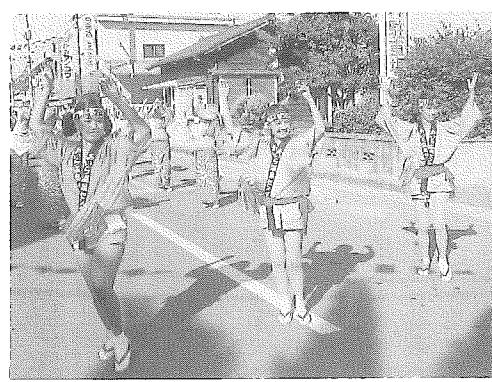
▼マーチングパレード



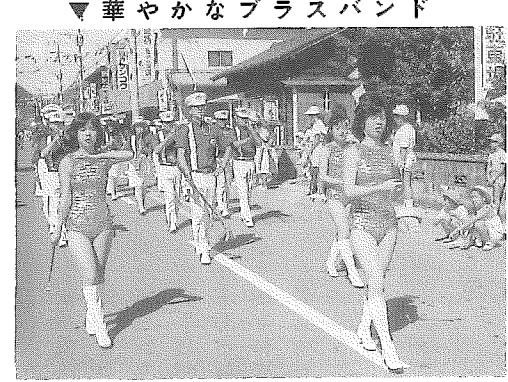
▲うまくすくえるかな



▲アイドル志願…?のど自慢大会

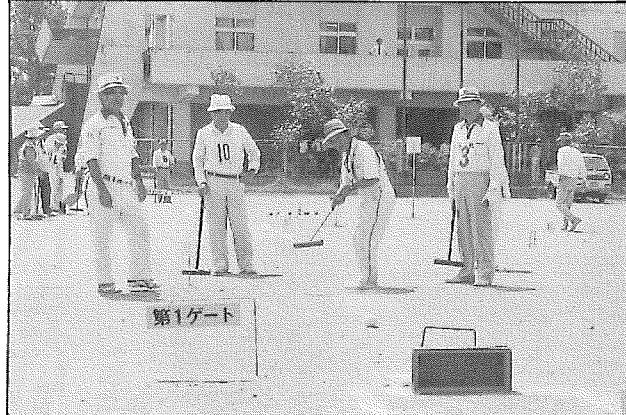


▲“よかおご”さんもヨイ～ヨイ～



▼華やかなプラスバンド





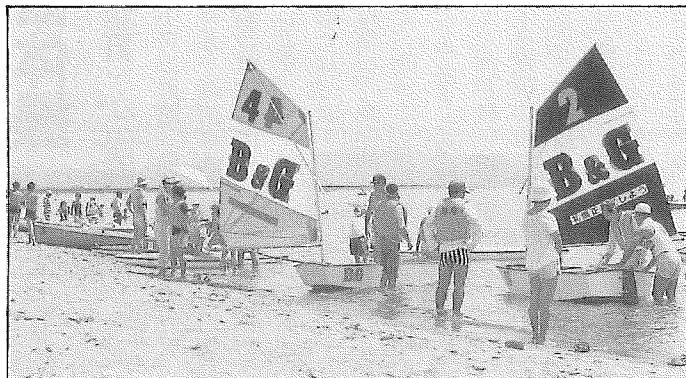
本部分団が2連覇（8月9日）

国分自衛隊グランドで行われた、始良・伊佐支部消防操法大会において本部分団が自動車ポンプの部で2年連続優勝をしました。これは、操法の正確さや速さを競うもので、同分団は8月29日の県大会に支部代表として出場し、みごと4位に入賞しました。



交通安全ゲートボール大会（8月7日）

ゲートボール競技をとおして、交通安全ゲートボールの始良地区大会が、中央公民館グランドで行われました。競技には、8市町16チームが参加、本町からも思川東・奥出花・たかね・松風会の4チームが出場し、平均年齢68歳のたかねチームがみごと優勝しました。なお、同チームは10月24日に行われる県大会へ出場します。



ボート・カヌーに挑戦（7月27日）

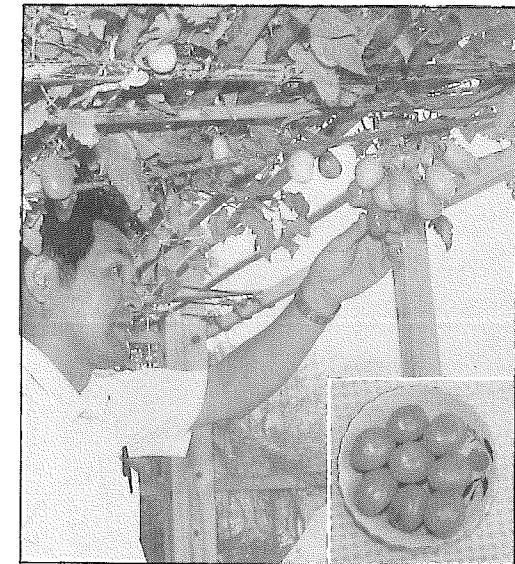
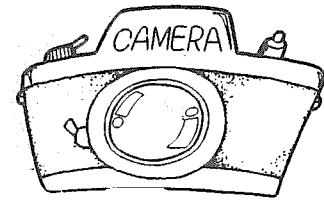
始良海洋クラブは、脇元海岸で西野町長をはじめ、来賓多数をむかえて一般試乗会を行いました。この日は、好天にも恵まれ、集まった約250人は、ボート・カヌー・ヨットに初挑戦。楽しいひとときを過ごしていました。

商店街をパトロール（8月19日）

婦人会を主とした各種婦人団体長さんがた15人は、3班に分かれて、商店街のパトロールを行いました。これは、毎年夏休みと冬休みの2回、青少年健全育成運動の一環として、青少年に防犯を呼びかけようと実施されたものです。

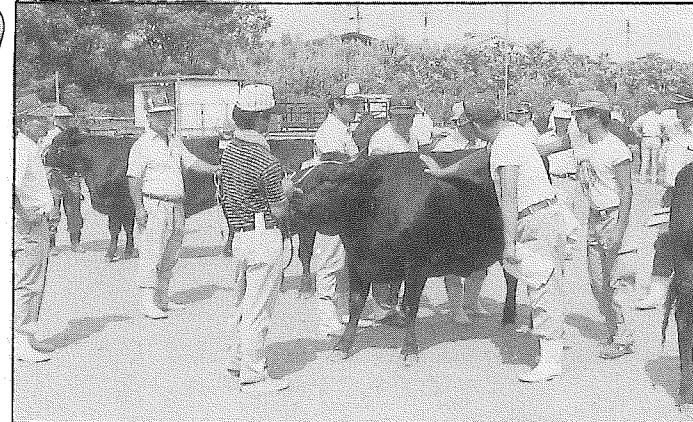


まちのわだい TOWN NEWS



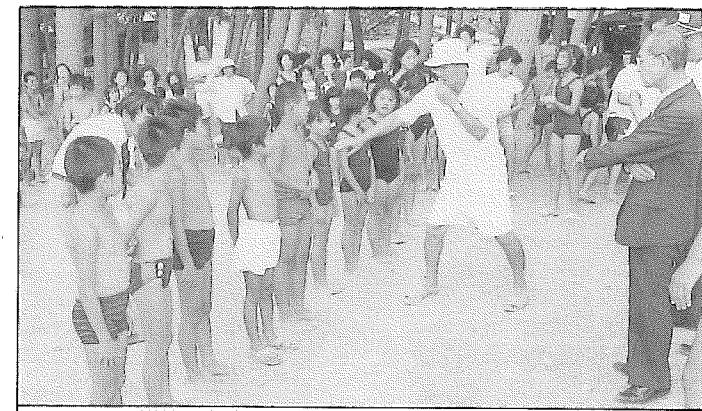
かわいいトマトが いっぱい！

鯉坂篤雄さん（内山田）宅には、水耕栽培による、無農薬のミニトマトがいっぱい実っています。今年3月に栽培を始めて、今までにわずか2本のさし木から500個以上も収穫したそうです。このかわいいトマト、食べるのも、ながめるのも楽しみですと、鯉坂さんは語っていました。



町畜產品評会（8月26日）

家畜の発育状態や、体格、肉質などを総合的に審査し、畜産の振興を図る目的で、町畜產品評会が中央公民館グランドにおいて行われました。52頭の出品中、生産牛の部で福岡福義さん（木津志）飼育の「とみこ2号」が、肥育牛の部では、竹中重文さん（岩崎）飼育の「なりまさ1号」が最優秀に選ばれました。また、乾燥草の品評会も行われ池田アキエさん（木津志）が1席になりました。



黒んぼNo.1は誰かな～（8月25日）

今年も、夏休み恒例の黒んぼ大会＆スイカ割り大会が行われました。会場となった重富海水浴場には、夏休み中に、真っ黒に日焼けしたチビッ子たちや、その家族など約200人が集まり、審査の末、今年度の黒んぼNo.1は、始良小4年生の永田勝志君に決定しました。

あいら文芸のコーナーでは、あいら文芸の作品を募集しています。住所・氏名を明記のうえ、広報係までお寄せください。

川柳

さぎ草の花の無垢なるあかず
して 岩下 由紀
宮の庭梅雨の石文いろは歌
水迅し飛驒の荒川岩つづじ
病葉や風化の崖の佛達

谷口 純男
下野 谷口 純男
吉村 清蔵
川畑 節子
岩崎美智子

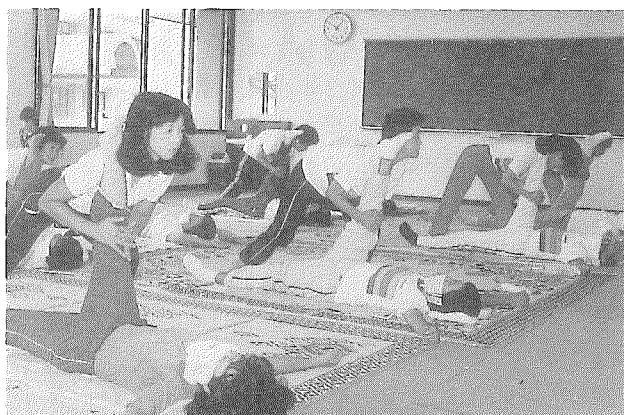
よく似合いますわと服を買わ
される 本木あさ給
豊作に除草の苦勞など忘れ
車 拭き
拭き
車 残りもの食べて母さんよく太
り 胃カメラを平気でのめる不幸
車 中流の気持ちにさせる自家用
拭き
拭き
車 い風呂 湯加減も聞いてもらえぬしま
せ い風呂 湯加減も聞いてもらえぬしま
庫 あいら文芸の作品を募集していま
す。住所・氏名を明記のうえ
廣報係までお寄せください。

緑葉も秋が近づき衣がえ
(北山中)隈元いずみ
せまき庭心和ますかすみ草
(重富中)藤崎理恵

俳句

は枝を剪り余剰のものを引き抜
きて梅雨明けちかき樹々の空
間 はそえ降る川面に翔てる白鷺
は 折鶴のごとしその影もまた
は 華麗なる打上花火いむ田湖の
水鳥等に息ひそめゐむ
月野 宮田 みつ
ユーカリの森に瞬く星空の夢
に遊ぶやコアラは昼寝
月野 月野 与
原爆忌てふもいつかは死語と
ならむ危惧を胎みし中東の空

あいら文芸 短歌



日々の修練が大切



全国大会優勝の鹿子木さん

健康いきいき・生命の貯蓄体操

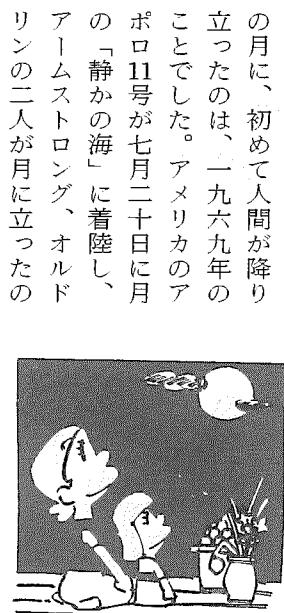
全国大会で鹿子木さん(豊野)が優勝

保健センターでは、毎週一回約百人の老若男女が集まり、生命の貯蓄体操を行い健康づくりに励んでいます。

この生命の貯蓄体操とは、ジャズダンスやエアロビクスとは違い、東洋的な体操を取り入れたもので、ゆっくりとした動きが多く、エネルギーをあまり使わず、活動力を貯え、呼吸法とか精神統一法を重視し、心身の安定と生命維持作用に関係する臓器や組織をリフレッシュしようとすることを目的にした『健康づくり体操』です。

この体操を指導している町生命の貯蓄体操普及会会長の鹿子木勝枝さん(三十五歳)は、八月二日に大阪で行われた生命の貯蓄体操全国競技大会において、自彌術(自らを励まし強くする体操)個人戦五十歳未満の部で、みごと優勝しました。

鹿子木さんは、県立保養院に勤務しながら、ボランティアで、この体操の普及、指導に熱意を注いでおり、「自己の鍛錬法として今後も、健康な人は、健康増進と体力づくりのために、不健康な人(体に障害のある人)は、その内容に応じて、健康になるために、この運動を実行してもらいたい」と語っていました。



□歳時記□

名月

『月月に月見る月は多けれど、月見る月はこの月の月』という歌があります。月は、やっぱり中秋の名月に限ります。中秋の名月にススキや団子を供えて月見をする風習は各地にあります。

また、イモ名月と称して、サトイモを供える地方もあります。

月の中にウサギがいるという話は、日本ばかりではなく中国、インドなどにもありますし、メキシコインディアンなどにも月のウサギの話が、伝わっているそうです。

人間は、古くから月にロマンを感じきました。その月に、初めて人間が降り立つたのは、一九六九年のことでした。アメリカのアームストロング、オルドリンの二人が月に立ったの



ひま学校では



九州制覇だ！

重富中弓道部

顧問
節句田伸弘先生
古今先生

重中弓道部は、鹿児島県大会を制し、みごと九州大会でも優勝、さらに全国通信大会で輝しい第三位となつた。

これは、課外活動としての、对外試合の結果であり、日常活動の過程は修練である。

『射は礼に始まり礼に終わる』といわれるよう、動作は莊重優雅に、心は純真清澄に射と礼とが融和して一箭に誠をつくす弓道の本旨にせまっていく過程がある。競技だけが目標でなく心身の修養と自己完成の道を求めようとしているのである。

入部して的に向かい的中するようになると射技にとらわれて、礼節を失う者が、でてくるが、その者は乱射となり滅の道をたどる。そこで、心を新たにし、また、基本に帰り射即礼の一体を求める。

態度・動作・射法・射技の基本に徹した射には品格があり射れるようになる。

現在、重富中弓道部は、①継続②基本③礼儀④清掃（万人次の準備をして終わる）を柱に、日々、修練に修練を積み重ねている。

団員の健全な育成を…

姶良ソフトボールスポーツ少年団
監督 浜園広幸さん
コーチ 原弘人さん

昭和五十五年姶良小新設と同時に設立、姶良小を中心に西姶良小の児童四年生から六年生まで、現在三十五人（うち女子一人）今年で七年目です。

設立目的は、青少年の健全育成をめざし、ソフトボールをとおし、技術面の向上と成長期の体力増進と健全な精神の育成の手助けをすることです。

今年は姶良郡夏季大会優勝、県交歓大会brook優勝、全九州大会予選大会で優勝し、名実ともに、約二百五十チームある鹿児島県のトップの座につきました。九州大会では、県代表として、すばらしい試合をして惜しくも準優勝でしたが、子供たちも自分たちの力が県外でも通用じることを知り、今後ますますあらゆる面での自信になると期待しています。

練習は、四人の指導者のもと月曜から土曜まで、雨天以外は汗を流しています。また、野外活動として、一日遠足、夏のキャンプ、冬の体力作りハイキング等いろいろと行っています。

最後に監督の子供たちへの指針のことばを一つ。

まず、何かを学べ!!

勝つておごるな！敗れて悔や



山菜おこわ

山菜おこわ

脇園節子さん(深水)



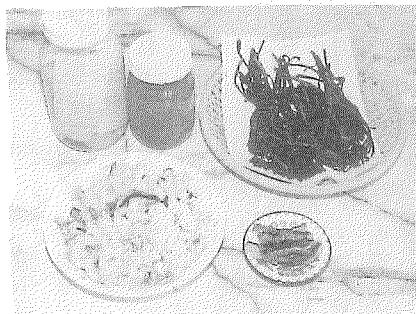
【調理方法】

材料 5人前
もち米 700g、人参
75g、わらび・たけのこ・
ごぼう各 100g、鶏肉 150g、椎
茸中葉 8枚、薄揚 1枚、酒大
さじ 1.5、砂糖 大さじ 1.5、薄口
醤油 90cc、だし汁 90cc

①もち米は前夜から水につけておいて、ザルに上げ、水を切る。②椎茸は千切り。ごぼう、人参はさざがき。わらび・たけのこはきざむ。③油揚はあらく千切りにし、熱湯をとおして油抜きする。④眞の材料を全部鍋に入れ、調味料を加えて煮込む。⑤蒸し器にもち米を入れて約三十分蒸す。⑥蒸し上がった米と具を混ぜて再び蒸し器の中に入れ、煮汁を二つ三回に分けてかけ、蒸し上げる。

私は、グループで集まって楽しく農産加工食品作りをしています。めんつゆ・やき肉のタレはもちろん、地域ならではの、わらび・たけのこ・つわ・ふきなどの豊富な時期に、びん詰めや、保存加工をしていますと、いつでも手軽に利用できて、料理のレパートリーも広がります。

その中でも「山菜おこわ」は、誰にでも親しまれ、喜ばれる米飯料理ではないでしょうか。



宝暦二年（一七五二年）

の正確さを知ったという。
この糸を作ったといわれる

中川原から中津野に水が
流れた時、ユキエは思わず
嬉し涙にむせんだという。

中津野（旧帖佐郷）周辺は、
さくばくとした荒れ地であ
った。人々は、なんとかこ
こを開墾して「田んぼ」に
できいいものかと、常々考
えていた。ところがなかなか良案がなく困っていた。

そこで

そんな困惑しきった場を
か良案がなく困っていた。
そこには、中津野へ水を引
かれていた。ところがなかなか良案がなく困っていた。

中津野の農民を救つたが、
高い丘に今もなお、安置され
ている。

中川原を通つて用水路を引
けばきっと中津野へ水を引
くことができる」と考へ、大人た
ちに相談したところ、ユキエ

の案どおり実行されることに
になった。

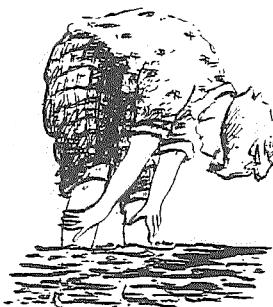
今夏八月に、水口重雄（七六
氏）と中津野から、老神神社、
中城、中川原をくぐりぬけて、山田川の

山下井堰にいたるト

ンネルづたいをたどつてみた。

ぐいぐいと勢いよく流れ
ゆく水、緑青々たる稻穂が
その水路をうけて、心なし
かとても美しく輝やいていた。

とうとうたる生命の水脈



「郷土を知る」

繪と文

『水路創設者水口ユキエ』
本兼光さん
(青葉台)

土地の勾配を見て、水路が
引けることを発見したので
あった。

田川の東岸から中川原、中
津野にいたる用水路の位置
を定めたという話は、あま
りにも有名である。

山田川の山下に井堰を作
り（当時は竹の棚を作り、
土で固めて作った）水路を
作つて水が流れる状況を見
るために、糸を流して、そ

生まれた。

約四キロの用水路の途中九
カ所にトンネルを掘り、難工
事の末、やつと完成し、中津
野（三四ヘクタール）と山田
(三二ヘクタール)の美田が
れた

供花が絶えず、昭和の世に
いたつて、顯彰碑が建てら
れた

思ひやるの心

“思いやり”はカッコワルイか？

ある日、一人の中学生が、電車の中で次のような後味のわるい体験をしました。

車中でタバコを吸つていて三人の高校生に対して、周りの大人が何も言わないし、持ち前の正義感から、ひとことに注意を促しました。その結果高校生三人になぐられ、中学生もそれに対抗……そのあげ

く、半ば車中の暴力事件として補導されてしましました。彼にしてみれば、皆が迷惑しているから皆の気持ちを思いやつて、注意しただけなのに……、学校にも届けられ、ケンカとして処理されてしまつたそうです。

「三人対一人では、かないつたそのだから、注意などす

く、半ば車中の暴力事件として補導されてしましました。彼にしてみれば、皆が迷惑しているから皆の気持ちを思いやつて、注意しただけなのに……、学校にも届けられ、ケンカとして処理されてしまつたというのです。

彼にしてみれば、まったく不本意な結果となつてしまつたが、彼の正義感あふれた、他人を思いやる行動は、人として、すばらしいことだと思います。

「他人に迷惑をかけるな」

ることはない」などという、大人のホンネの声もあつたよう

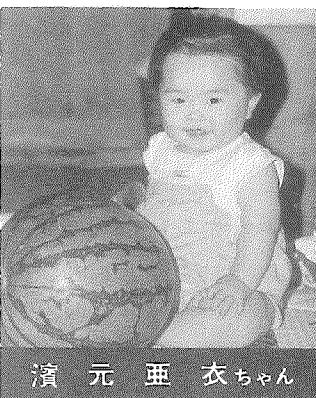
この一件以来、彼は、他人が困つていようと自分に関係のないことにはタッチしないといふ一線を、心中に引いてしまつたというのです。

ところで、最近、若者の間では、正義感や思いやりの心をストレートに出すと「ダサイ！」という反応が返つてくるようです。「ええカッコするな」と冷やかされたり、「あんたはエライ！」などと、マンガ口調でからかわれてしまいます。

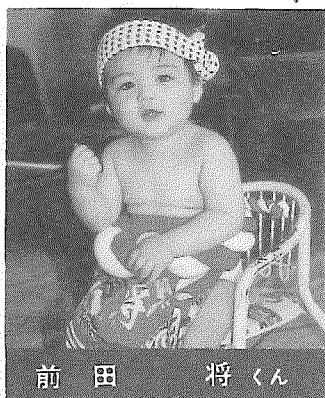
これは、内心、正義感や

思いやりの心に燃えていようと、ストレートな形で表現することに、とまどいを感じてしまします。

この機会に、思いやりの心について、改めて考えてみると、必要があると思います。



濱元 亜衣ちゃん



前田 将くん

濱元 治さん】の長女
かず子さん】

はじめまして亜衣ちゃんです。ごらんのとおりスイカよりはスマートに見えるけど、8カ月で10kgもあったのよ！

9月18日で1歳になり、少しはホッソリしてきました。お父さんやお母さんは、私を“だっこ”する時、重くて苦労したみたい……。

とっても好奇心が強くて行動的な女の子で～す。

(昭和60年9月18日生まれ
住吉)

前田 豊さん】の長男
あさみさん

こんにちわ、ボクは、ガキ大将の将くんです。始良町民になってはやくも、11カ月が過ぎ、ますます元気1,000パーセント!! 最近では、テーブルや階段に、よじ登るのが得意で、お母さんを、いつもハラハラさせてています。好物は、シチューとヨーグルト…。そして、よく一緒に遊んでくれる、お姉ちゃんも大好きだよ。

(昭和60年10月29日生まれ
始良ニュータウン)



広がれ

ナニテ

楠元卓球クラブ（大園

利子さん他二十人）は、七年ほど前から、卓球を

とおして、健康づくりや会員相互の交流を深めよう

と、毎週木曜日の午前中、勤労者体育センターで、気持ちのいい汗を流しています。

なお、同クラブでは、いつも卓球したいかたを募集中です。



という言葉は、よく耳にします。しかし、他人に対する思いやりの心は、二の次になつてゐるのでは……。

この機会に、思いやりの心について、改めて考えてみると、必要があると思います。



国民年金の 標語募集

昭和六十一年四月一日、従来の国民年金制度が改正され、新しい国民年金制度が発足しました。私たちは、来るべく高齢化時代に向けて、いろいろな準備をしなければなりません。なかでも、最も大事なのは年金です。

本町では、未加入や、未納者も多い現状です。年金は、私たちの老後の生活を支える大黒柱です。

そこで、年金の大切さを、広く皆様に理解していただきために、年金標語の募集を行います。

応募要領

町内に住所を有する二十歳以上の人で、官製ハガキに二首以内記入して、住所・氏名を明記のうえ、始良町宮島町

二五番地、役場住民課国民年金係まで郵送してください。

締切りは、十月三十一日で、入賞者は、十一月上旬の「まちだより」で発表します。

なお、入賞者には、賞状と賞品があります。（一席一人二席二人、三席三人）

入賞した作品は、今後の年金事業の推進に役立たせていただきます。詳しいことについては、住民課国民年金係、内線109までお問い合わせください。

十月一日は 「法の日」です

政府は、十月一日を「法の日」と定め、法の尊重、基本的人権の擁護、社会秩序の確立の精神を高めるための日としました。

裁判所では、十月一日から

一週間を「法の日週間」として次の行事を行います。

一、公判の傍聴、裁判所の見学
二、講演会



みんなで育てよ!「ふるさとの森」

ふるさとの「美しい自然」と「豊かな緑」四季折々の自然の中で、山の成長を見ながら、森林経営に参加し、ふるさとに山を持つ喜びと、自然とのふれあいを味わつてもうおうと、町では、「ふるさとの森」育林事業の募集を行っています。

これは、町が持つてい

三、無料法律相談所の開設
詳細については、鹿児島地方裁判所総務課庶務係（☎ 0992②7121 内線335）まで、お問い合わせください。

昭和六十一年度 後期技能検定試験

方裁判所総務課庶務係（☎ 0992②7121 内線335）まで、お問い合わせください。

裁判所では、昭和六十一年十一月二十九日から昭和六十二年二月二十三日の間に実施さ

昭和六十一年度後期の技能検定試験を行います。

試験実施職種は二十七職種で、配管・建築大工・型枠施工・鉄筋施工・冷凍空気調和

県職業能力開発協会では、

昭和六十一年度後期の技能検定試験を行います。

試験実施職種は二十七職種で、配管・建築大工・型枠施工・鉄筋施工・冷凍空気調和

機器施工・ガラス施工・防水施工・農業機械整備・和裁・木工機械整備などがあります。
試験受付けは、昭和六十一年十一月六日から同月十七日まで。試験は、昭和六十一年十一月二十九日から昭和六十二年二月二十三日の間に実施されます。

詳細については、県職業能力開発協会（鹿児島市住吉町一五一一県住吉ビル三階、☎ 0992②3240）までお問い合わせください。

